

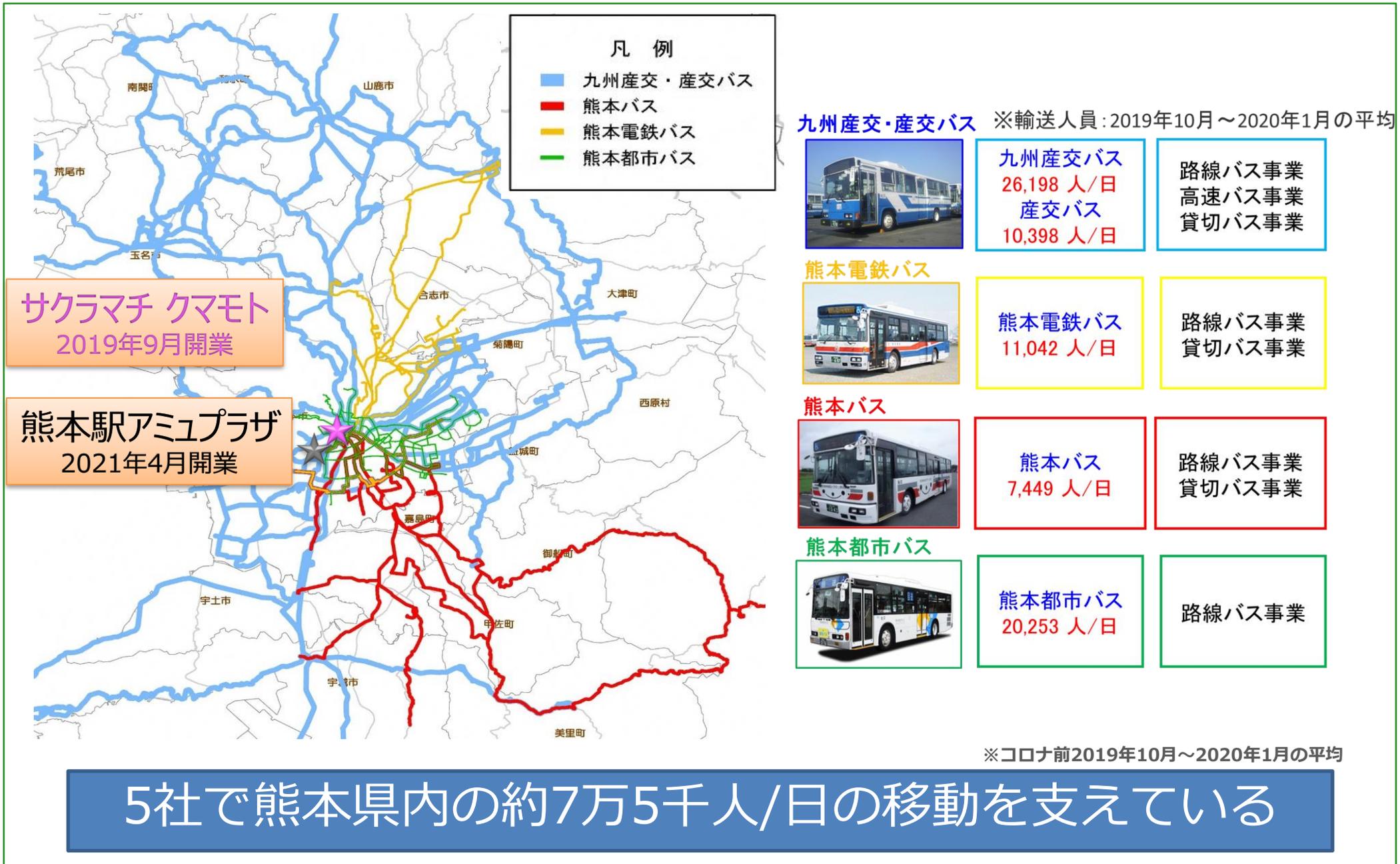
熊本の路線バス事業者による 共同経営について

令和5年（2023年）8月10日

共同経営推進室 室長 高田 晋

（熊本都市バス株式会社 代表取締役）

熊本地域の路線バスについて



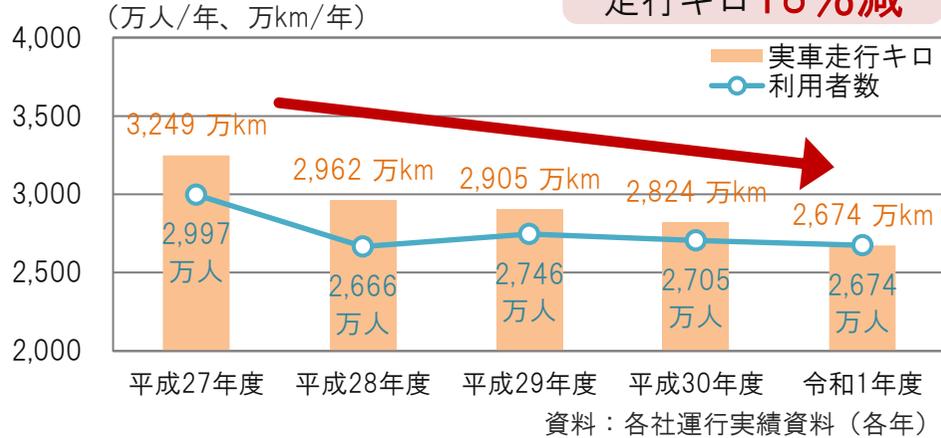
5社で熊本県内の約7万5千人/日の移動を支えている

共同経営に至る経緯について

(熊本地域の乗合バスを取り巻く現状)

利用者数・サービスの減少

利用者数 **11%減**
走行キロ **18%減**



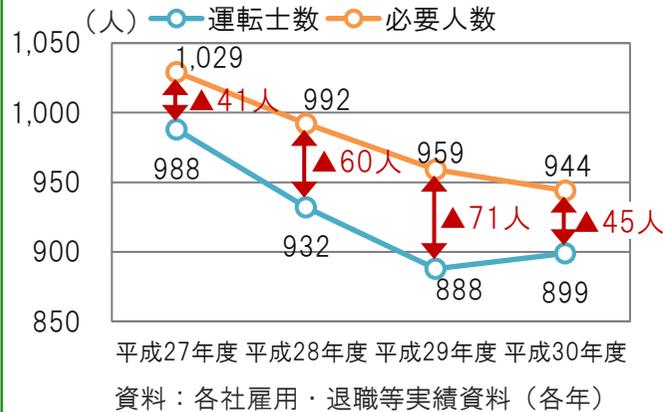
(公共交通の課題・将来の見通し)

3~5年先のサービス提供を維持できない可能性が危惧され、今後の人口減少・超高齢社会を見据えた公共交通ネットワークの維持・拡充策が必要

共同経営を目指す取組み

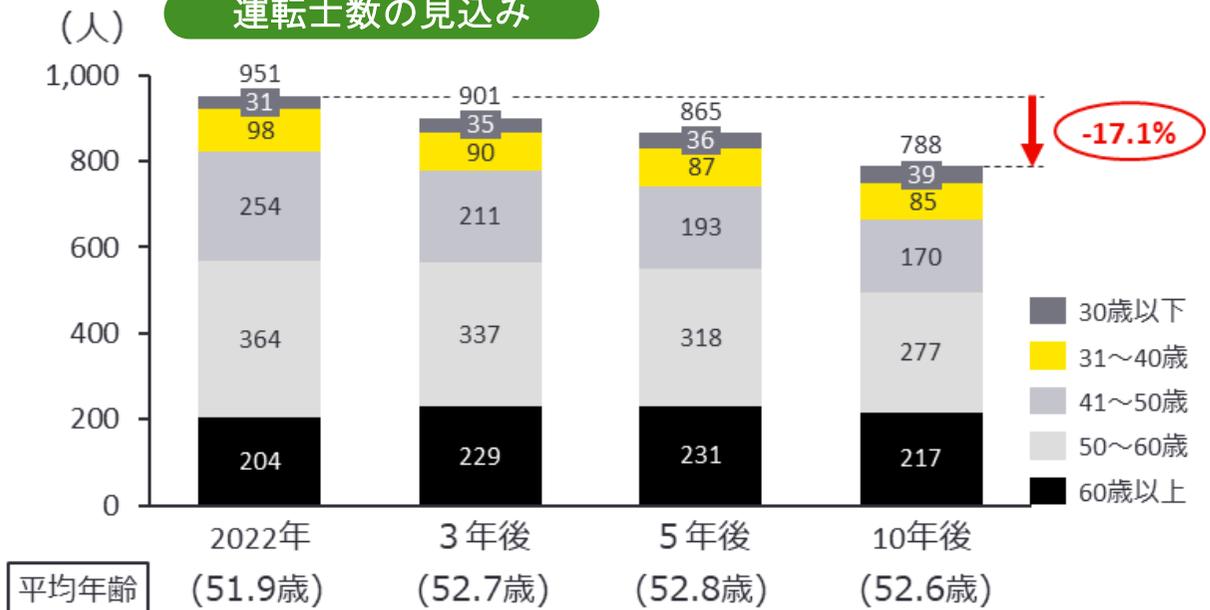
熊本におけるバス交通のあり方検討会において、熊本地域の“あるべきバス路線網”や経営問題の解消策を検討
県内バス事業者5社が企業間の垣根を越えて連携し、持続可能なバス路線網の構築を目指す“共同経営”に合意

運転士の不足数



H30年運転士
▲45人不足

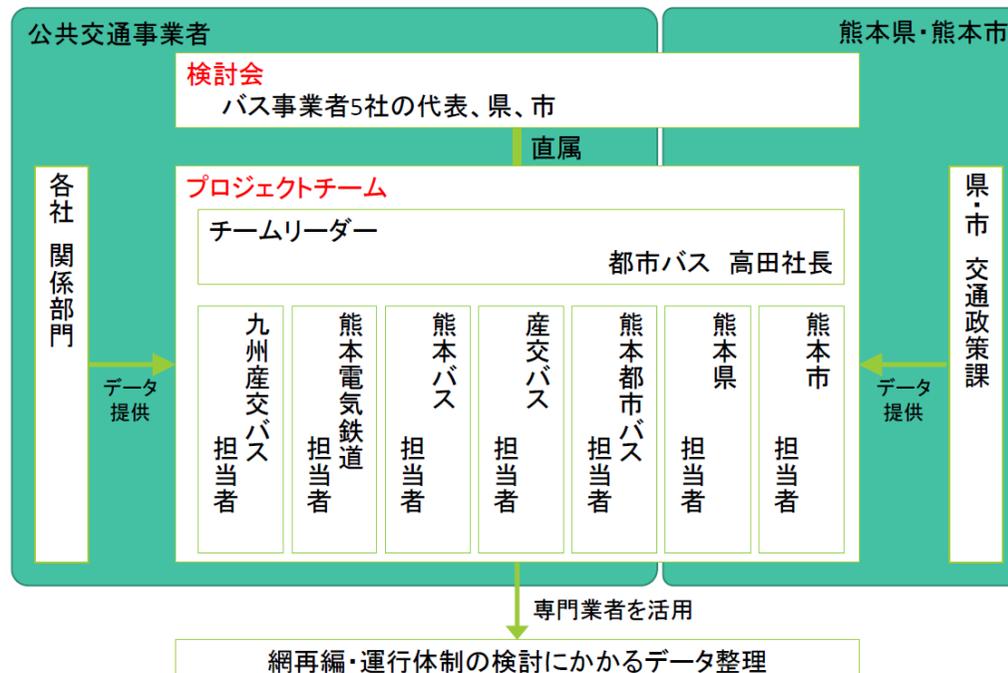
運転士数の見込み



2019年3月 あり方検討会発足

- ・県、市、事業者フラットな検討体制
- ・リーダーは都市バス社長

プロジェクト組織図

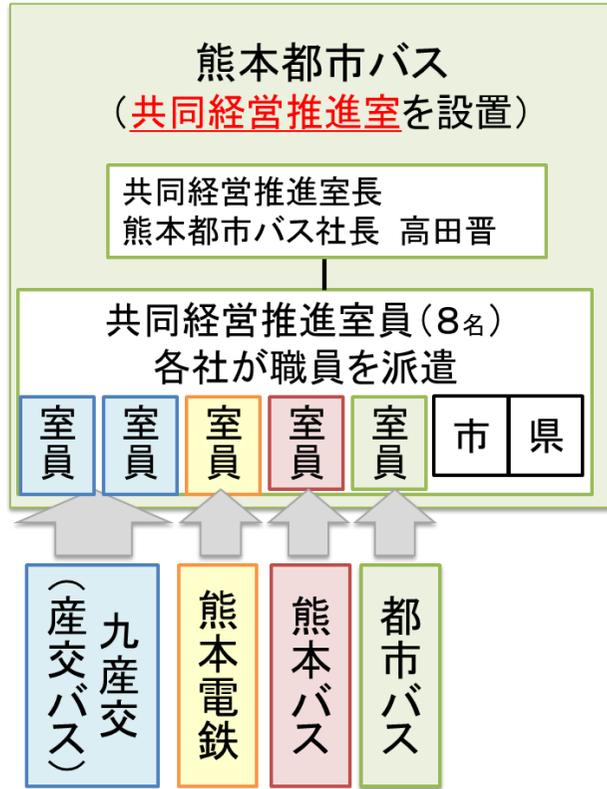


国も未来投資会議等で、バス会社の経営統合や共同経営を後押しする動きあり

2020年1月 共同経営型の事業形態へ移行を表明
(第5回 熊本におけるバス交通のあり方検討会にて)

<参考> 共同経営推進室について

体制

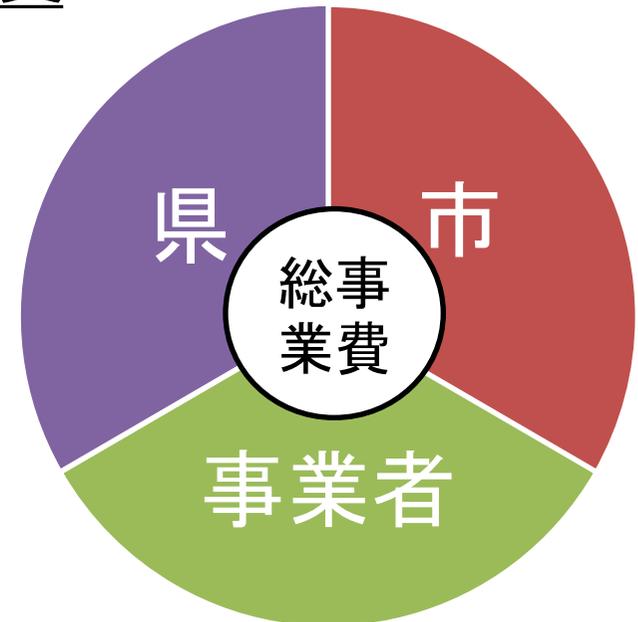


2020年4月 共同経営準備室を設置
2021年3月 共同経営推進室に移行

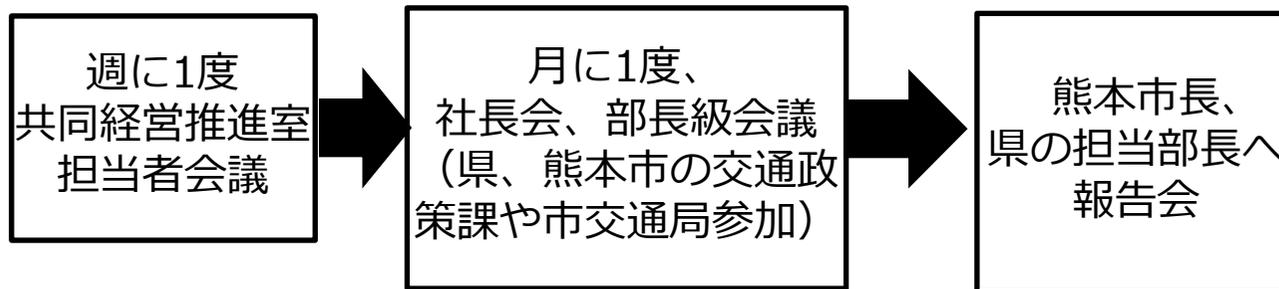
場所、ツール

- ・ 都市バス本社の一室を執務室として活用
- ・ パソコン等事務品は都市バスが用意
- ・ 分析ツールを2020年度整備し、活用

事業費



プロセス



共同経営の目指す方向性

1 重複区間等の最適化

バス同士や鉄軌道との重複区間等で、需給バランスの最適化を図ります。

- 【熊本都市圏※対象】
（※桜町BT発着路線がある市・町）
1. 重複区間等の最適化
 2. コミュニティ交通等と連携したNW維持
 3. 新規路線等の拡充
 4. バスレーンを伴う階層化
 5. 利用促進策の拡充
 6. 経営資源の最適配置

2 新規路線等の拡充

分かりやすく利用しやすい新規路線やニーズに沿った増便を進めていきます。

- 【県全域対象】
2. コミュニティ交通等と連携したNW維持
 5. 利用促進策の拡充
 6. 経営資源の最適配置

3 コミュニティ交通等と連携したNW維持

需要に応じてバスとコミュニティ交通等が役割を分担し、NW全体を維持します。

4 バスレーンを伴う階層化

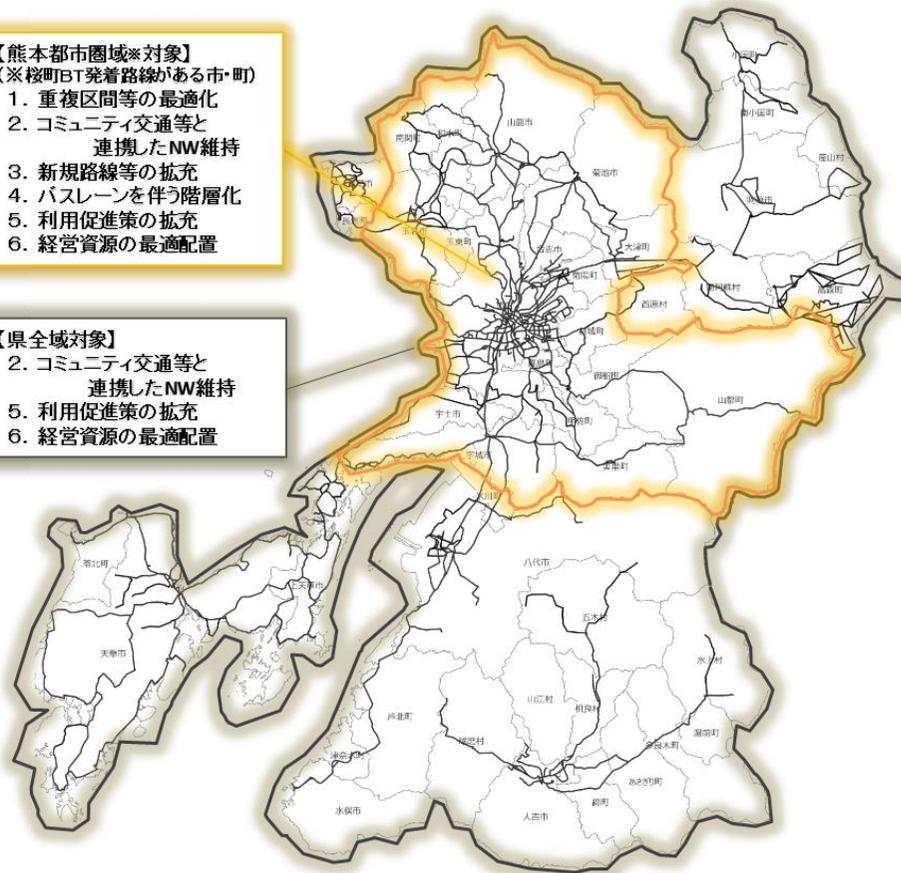
バスレーンの導入とともに、バス路線の幹線支線化を進めます。

5 利用促進策の拡充

共通定期券、乗継割引の拡充、均一運賃制などの検討を進めていきます。

6 経営資源の最適配置

現在の5社の垣根にとらわれず、常に運転士や車両の最適配置を検討します。



この実現に向けて鉄軌道事業者・タクシー事業者・関係機関・地元自治体等とも緊密な連携が必要

共同経営計画第1版の概要

申請者

- (1)九州産交バス株式会社 (4) 熊本バス株式会社
 (2)産交バス株式会社 (5) 熊本都市バス株式会社
 (3)熊本電気鉄道株式会社

共同経営の概要

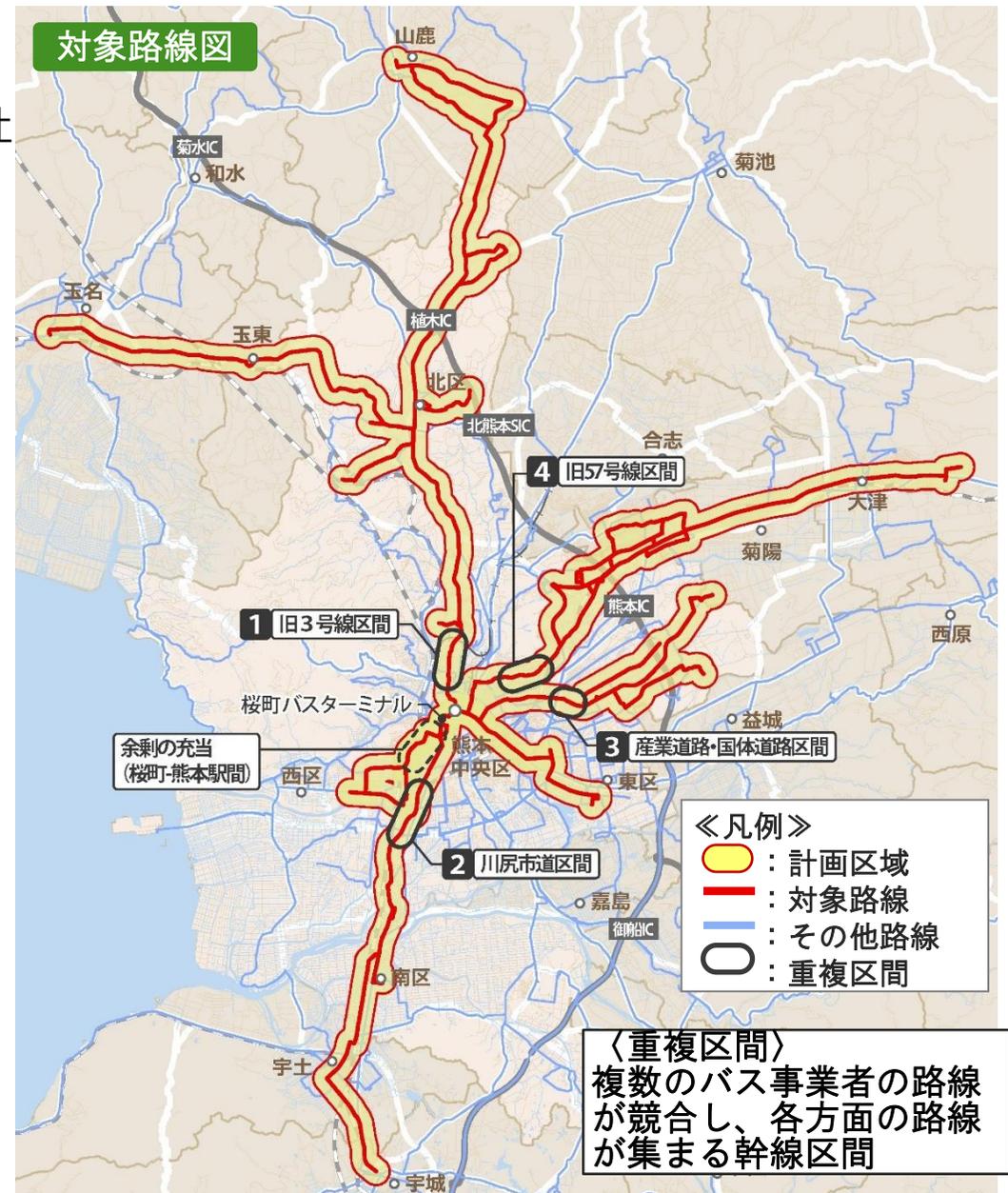
- ①旧3号線方面の最適化〈植木・山鹿方面〉
 ②川尻市道方面の最適化〈川尻・松橋方面〉
 ③産業道路・国体道路方面の最適化〈長嶺方面〉
 ④旧57号線方面の最適化〈楠・大津方面〉

共同経営の目標

- ①収益性・効率性の向上
 重複区間の効率化等により、収益性は約31百万円の改善、サービス維持に必要な人員5.6人/日・車両4.7台/日の軽減
- ②サービス提供維持の目標
利用者利便の水準を維持しつつ、対象55系統のサービス維持

実施期間

令和3年4月1日～令和6年3月31日までの3年間



申請者

- (1) 九州産交バス株式会社
- (2) 産交バス株式会社
- (3) 熊本電気鉄道株式会社
- (4) 熊本バス株式会社
- (5) 熊本都市バス株式会社

共同経営の概要

①県庁方面系統の最適化

経路変更や廃止による輸送の効率化、
待ち時間の平準化〔県庁通り（砂取校前～北窪間）〕

共同経営の目標

①収益性・効率性の向上

重複区間の効率化等により、収益性は約24百万円の改善、サービス維持に必要な人員5人/日・車両4台/日の軽減

②サービス提供維持の目標

利用者利便の水準を維持しつつ、対象44系統のサービス維持

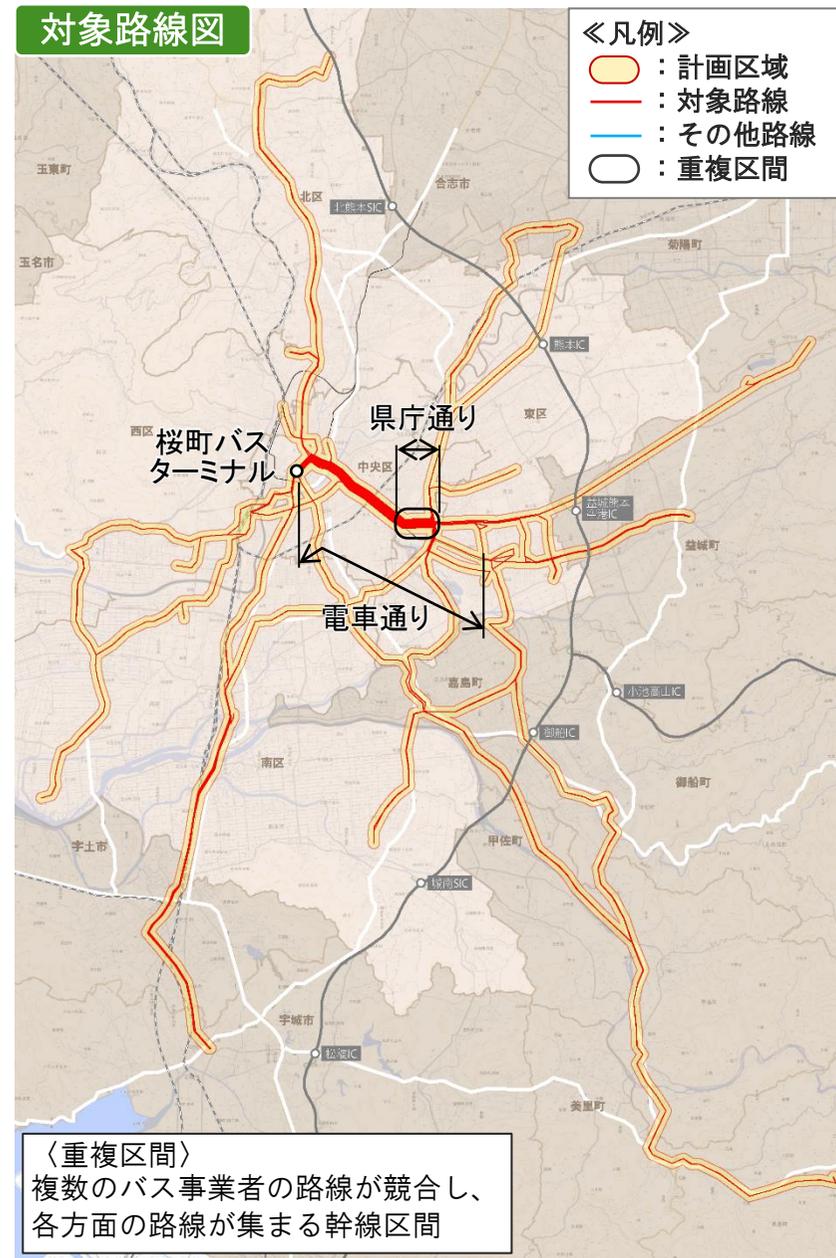
③労働環境の改善

輸送の効率化による余剰で、運転手の労働環境を改善しつつ、現行の輸送サービスを維持する

実施期間

令和4年10月1日～令和7年9月30日までの3年間

対象路線図



その他の共同経営事業（共同経営計画以外での取組）

| 年 | 取組内容 |
|------------------|---|
| R2年度 (2020年度) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 路線バス事業のデータ公表 ■ バス電車100円の日（コロナにより中止） ■ 5社共通のデータ分析システム開発 ■ 利用促進につながる新サービスの調査・検討 |
| R3年度 (2021年度) | <ul style="list-style-type: none"> ■ まちなかループバスの運行開始 ■ 路線バス事業のデータ公表 ■ バス電車100円の日（コロナにより中止） ■ 共通定期券の導入に向けた改修 ■ 路線バスのネットワーク維持に向けた調査・検討 |
| R4年度 (2022年度) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 共通定期券サービス開始 ■ バス利用者増に向けた戦略策定及び取組の実施 ■ バスの定時性向上に向けた取組の実施 ■ 路線バス事業のデータ公表（予定） ■ バス電車100円の日（11/5予定） ■ 世界的半導体企業の熊本進出による交通問題検討および実証運行 |
| R5年度 (2023年度) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 都心均一運賃の導入 ■ バス利用者増に向けた各分科会による持続的かつ具体的な取り組みの実施(※後述) ■ 公共交通ネットワークのリデザインと共同経営事業の拡大検討 ■ ICカードリプレイスと代替決済機能の比較検討 ■ 熊本市交通局(路面電車)との緊急時における代替輸送協定の締結 ■ バスの定時性向上に向けた運行時分適正化の継続的取組 ■ 路線バス事業のデータ公表 ■ 「無料の日(2回/年)」「大人100円 子供無料 の日」「100円ウィーク」の実施 |

2022年4月1日熊本県下全域 ICカードによる共通定期の実施

- IC定期券の区間内は、どの会社の路線バスでも（電鉄電車も含む）が利用可能に。
- バス事業者間での乗継定期券のサービスも開始し、2枚必要だった定期券が1枚に。



2022年度の結果

2022年度の定期利用客数

3,752,263人

コロナ回復効果

定期券以外の利用者伸び率

100/107

2021年度の定期利用者数

3,171,557人

＝ 定期券純増効果

335,231人

共通定期実施による定期券の純増効果は？

- ①定期券の輸送人員は2021年度と比較して2022年度は118%増加
- ②定期券の利用比率(定期券人員/全体輸送人員)は2021年度と2022年度は大きく変わらない
- ③SF・おでかけ・現金利用者数をトータルで見た場合、2021年度と比較して2022年度は増えており107%増加
- ④SF・おでかけ・現金の利用比率(SF・おでかけ・現金人員/全体輸送人員)は2021年度と2022年度は大きく変わらない

通勤：主に**公共交通を活用した渋滞緩和**に向けて活動中

2023年1月27日（金）セミコンテクノパークノーマイカーデー実証実験

運行内容：公共交通を大幅拡充

－既存公共交通機関

- ・JR 豊肥本線：朝時間帯3便増結
- ・セミコン通勤バス：21 便→30 便

－新規無料通勤バス

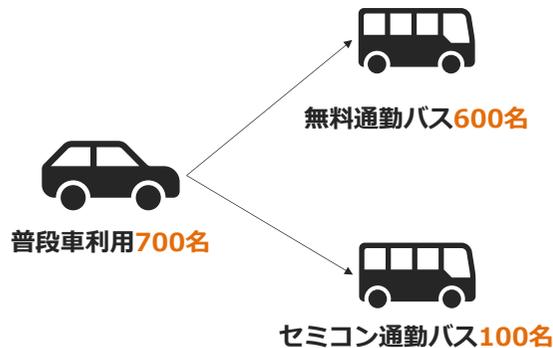
- 熊本市東区ルート：16 便
- 合志ルート：11 便
- 光の森ルート：12 便
- 大津ルート：9 便



車から公共交通への転換事前見込み

事前アンケートから目標800人に対して700人期待

※参加希望、未定だが参加希望と回答した方



| 無料通勤バス | 朝 | 夕 |
|-------------|------|------|
| 合志ルート | 34人 | 30人 |
| 光の森ルート | 54人 | 53人 |
| 熊本市東区八反田ルート | 28人 | 26人 |
| 熊本市東区日赤ルート | 55人 | 46人 |
| 大津ルート | 35人 | 27人 |
| 合計 | 206人 | 182人 |

※206人の内、車からの転換者は153人

| セミコン通勤バス (既存交通機関) | 朝 | 夕 |
|----------------------|------|------|
| | 453人 | 281人 |

※453人の内、車からの転換者は46人

車1割削減（朝ピーク800台・人）を狙っていたが…

事後アンケートより車からの転換は199人と推計され厳しい結果に

★調査分析より

①公共交通利用の**満足度は高い (81%)**

②車利用含めて**渋滞対策として公共交通拡充意向は高い (83%)**

③公共交通転換という行動変容はハードルが高く渋滞緩和へ至らず

今年度は**県が公共交通を活用した渋滞対策として新たな通勤バス実証運行を3ヶ月程度実施予定**
通勤バスの実装に向けて**共同経営推進室**としても昨年度の知見を踏まえて連携していく予定

通学：バス通学の利用促進活動

| | |
|-----|---|
| 協力 | 熊本県内 2 高校 |
| 目的 | バス通学に関する情報を積極的に提供することで、毎日の通学においてバス通学を利用する方が増えるように、また、日常利用者以外でも、荒天時や傷病時にすぐバス通学ができる状況にしておく。 |
| 方法 | 熊本県内 2 つの高校の 合格者説明会 にてブースを設置し、バス通学に関する相談を承る |
| 配布物 | チラシ、定期券申込書（特別版）、路線図、など |
| 備考 | 本イベント用の通学定期券申込書を配布。．．．．．（本券による申込数：65名） ※2023年5月集計 2校合計 →「入学/通学証明書」の発行/提出の簡略化 個人ごとに時刻表を印刷 各バス会社と連携した問い合わせ対応 |



A高校(熊本市内, 公立)
[3月17日(金) 実施]

対応数 入学者362名中
160名程度



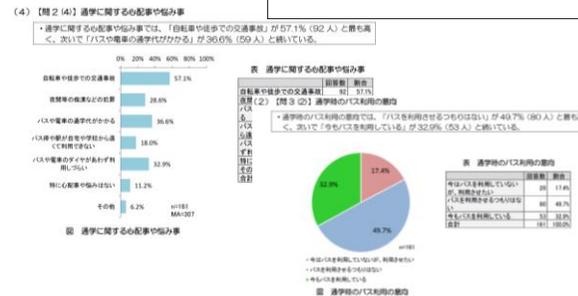
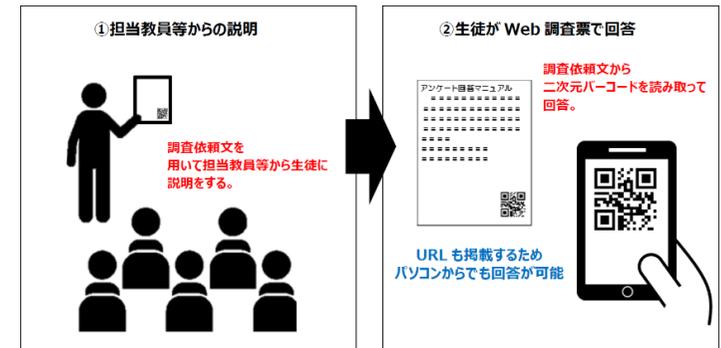
B高校(熊本市外, 公立)
[3月24日(金) 実施]

対応数 入学者約120名中
40名程度

主な問い合わせ内容

最寄りバス停からの直行の有無、本数、乗継について
雨天時の手段（通常は自転車通学予定）
My時刻表は大きな反響

同時並行して
在校生および
その保護者へ
アンケート



アンケートにより、保護者様からの「今はバスを利用していないが実は利用させたいと思っている」というお声が一定数ある事などもわかりました。

今年度以降活動予定

本活動の学校数をさらに増やす
夏のオープンスクールにてチラシ配布等による周知活動

私用 (買い物、おでかけ等)

【2022年度の取り組み】

- 発地側目線の利用を促す情報提供の実施 (戸別訪問)
- MY時刻表の試験配布
- 目的側と連携した利用促進活動 (2団体と協力)
- 1日限定100円の日・無料の日 計4回実施



毎日の家事やお出かけに〜御幸苗田地区ver〜

近頃のバスは… もっと便利・快適になっています!

私たちの生活より身近な交通機関であるバス。最近どうやら、どんどん便利になってるらしい。今回は、御幸苗田地区に暮らす方のある1日からバスの進化を覗いてみましょう。

POINT
Google Mapで遅延確認
POINT
平均遅延率10%なので座って帰れる!
POINT
平均到着遅れ3分。

バスは到着遅れが少ない!!
平均待ち時間 45秒

POINT
LINEの友だち追加でポイント500円分プレゼント!
詳細は裏面で

いつもは車利用
3年ぶりにバスを利用する
久々乗子(45歳)さんの一日

GoogleMapで目的地への行き方とバスの時刻を確認

バスは到着遅れが少ない!!
POINT
Google Mapで遅延確認
POINT
平均遅延率10%なので座って帰れる!
POINT
平均到着遅れ3分。

バスは到着遅れが少ない!!
POINT
Google Mapで遅延確認
POINT
平均遅延率10%なので座って帰れる!
POINT
平均到着遅れ3分。

バスは到着遅れが少ない!!
POINT
Google Mapで遅延確認
POINT
平均遅延率10%なので座って帰れる!
POINT
平均到着遅れ3分。

壁・掲示板・冷蔵庫に

ご自宅から よく行く所へ 貼ってください!

バスロケ連携

大江川鶴 → 桜町バスターミナル
所要約 17分 (経路・時間帯・交通状況により前後します)
下線細字: 所要時間が長い便です

| 時 | 平日 (2023/03/06) | 土曜 (2023/03/04) | 日祝 (2023/03/05) | 時 | | | | | | | | | | |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|------------|----|
| 06 | 48 F1-2 | 53 F2-3/S4-3 | 57 F3-2 | 58 F2-3/S4-3 | 47 F1-2 | 55 F2-3/S4-3 | 06 | | | | | | | |
| 07 | 10 F1-2 | 31 F1-2 | 34 F2-3/S4-2 | 35 F3-2 | 56 F1-2 | 2 F1-2 | 45 F2-3/S4-3 | 07 | | | | | | |
| 08 | 00 F2-3/S4 | 産交 F3-2 | 36 F2-3/S4-1 | 都市 F1-2 | バス F2-1/S4-1 | 41 F3-1 | 42 F2-1/S4-2 | 49 F3-1 | 05 F2-3/S4-3 | 07 F1-2 | 37 F1-2 | 40 F2-3/S4-3 | 08 | |
| 09 | 04 F2-1/S4-1 | 06 F3-2 | 29 F1-2 | 42 F2-3/S4-3 | 48 F3-1 | 59 F1-2 | 00 F3-1 | 05 F2-1/S4-2 | 08 F1-1 | 08 F2-1/S4-3 | 34 F1-2 | 41 F1-2 | 09 | |
| 10 | 06 F2-1/S4-1 | 06 F1-2 | 29 F2-1/S4-3 | 42 F3-1 | 48 F1-1 | 59 F1-1 | 00 F1-1 | 05 F1-1 | 07 F3-1 | 07 F1-1 | 37 F1-2 | 39 F2-1/S4-3 | 10 | |
| 11 | 06 F2-1/S4-1 | 06 F1-2 | 29 F2-1/S4-3 | 42 F3-1 | 48 F1-1 | 54 F1-1 | 08 F1-1 | 08 F2-1/S4-2 | 12 F3-1 | 37 F2-3/S4-3 | 41 F1-2 | 08 F1-2 | 42 F1-2 | 11 |

5社の全路線まとめて

リアルタイム情報

春のお出かけは公共交通で! 1日限定

バス・電車

無料の日

第2弾

2023年3月18日土

2023年度の活動

- ・ 目的側と連携した、利用促進の強化
- ・ MY時刻表の一般公開

高齢者：利用のハードルを解消するため市・県警・地域と協働による「バスの乗り方教室」を実施し外出機会を創出、バス利用の促進を図る

乗り方教室内容> 既存イベントへブース出展しバスの乗り方教室・サービスを案内



「東区民まつり」

日時：令和4年11月26日

内容：MY時刻表の配布

バスきたくまさん、
路線の案内

人数：約50人



「交通安全教室」

日時：令和5年1月～3月

内容：バス停・時刻表の見方

ICカードの使い方

おでかけICカードの案内

人数：約750人（計17回参加）



「第一回バス・スマホ教室」

日時：令和5年5月18日(木)

内容：バス停、時刻表の見方・ICカードの使い方

おでかけICカード、バスきたくまさん、路線の案内

カメラ機能・LINEの使い方

人数：15人

【連携】 ささえりあ江津湖・ソフトバンク



【共通した課題(声)】

HP等WEBでも案内しているが、**スマートフォンの使い方が分からない**ため情報を取得することができない。

【課題解消】

バス車内で**バス・スマホ教室を協働開催**することで関連付けた複数の情報が提供でき参加者にも多くのメリットを創出。

今年度は他地区でバス・スマホ教室を水平展開。連携先を増やし**高齢者の外出機会やメリットを創出しバスの利用促進**活動をおこなう予定。

2023/4 熊本地域公共交通の再構築検討会設置

(検討会メンバー)

熊本市、熊本県、バス会社5社、熊本市交通局、地域交通HD

(背景)

現在の共同経営により一定の成果は現れているが、経営効果上の限界もある。交通渋滞が著しく顕在化している熊本地域に対し、さらなる連携による公共交通のあり方を検討する。

(バス事業の方向性)

- 1 不採算路線の廃止、運賃値上により受益者負担増により民間サービスとして維持
- 2 路線バス以外の収益による民間サービスとして維持
- 3 公的機関主導により、路線バス事業者個社の最適路線網からエリア全体最適路線網への普段の転換を図りつつ、公的機関が公共交通に責任を持つ。

以上のような観点から議論中

